

基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	公園等維持管理運営経費				所管課	都市整備課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●		●		●		
事業対象	町民		目的	都市公園、児童遊園地等施設の維持管理を継続的に実施し、負担軽減に向けた公園の配置の見直しを行う。また、施設を整備し利用者の安全を図り適切な公園運営を行なう。			
事業概要	都市公園、児童遊園地等施設の維持管理を継続的に実施し、施設を整備し利用者の安全を図り適切な公園運営を行なう。						

事業予算								
会計	01	款項目	07	04	02	大事業	公園等維持管理運営経費	
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額		R 7 決算額		R 8 決算見込	R 9 事業費
	直接事業費	68,862	68,644		67,027			
	概算人件費	31,124	43,186		35,844			
トータルコスト		99,986	111,830		102,871		0	0
国庫/県支出金		0	0		0		0	0
その他		6,756	7,038		7,322		0	0
R 7 概算人件費		正規職員	0.27 人			1,401 千円		
		再任用職員	人			千円		
		会計年度任用職員	22 人			34,443 千円		
		その他	人			千円		
		合計			35,844 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	町観光入込客数【戦略】 （人）	計画値	497,434	500,000	510,000	520,000	530,000	540,000
		実績値		578,602	546,844	561,638		
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	公園・緑地の整備	4.07	2.91
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・公園利用者や地域住民が快適に利用できるよう、適正な維持管理に努めている。
	課題	・各公園の遊具等の施設の老朽化が顕著となっているため、計画的に整備していく必要がある。
今年度	成果（実績）	・公園利用者や地域住民が快適に利用できるよう、適正な維持管理に努めている。
	課題	・各公園の遊具等の施設の老朽化が顕著となっているため、計画的に整備していく必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

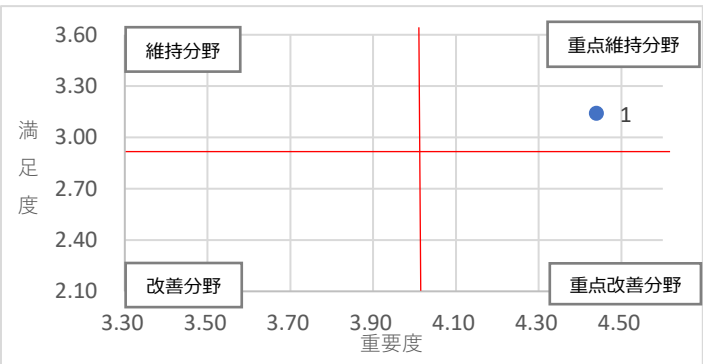
基礎評価シート（令和 7 年度 実績）

予算等事業名	耐震診断等事業				所管課	都市整備課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
				●	●		
事業対象	町民	目的	既存建築物の耐震化を図り、建築物の地震に対する安全性の向上を計画的に促進するため。				
事業概要	木造建築物の無料耐震相談会の開催、耐震診断費、耐震改修工事費及びブロック塀撤去工事費の補助を実施することにより、住環境及び町民の防災意識の向上を図る。						

事業予算								
会計	01	款項目	07	04	01	大事業	耐震診断等事業	
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額		R 7 決算額		R 8 決算見込	R 9 事業費
	直接事業費	1,145	1,807		1,393			
	概算人件費	572	916		989			
トータルコスト		1,717	2,723		2,382		0	0
国庫/県支出金		646	1,027		876		0	0
その他		0	0		0		0	0
R 7 概算人件費		正規職員	0.22 人			989 千円		
		再任用職員	人			千円		
		会計年度任用職員	人			千円		
		その他	人			千円		
		合計			989 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	耐震診断・改修申請件数（件）	計画値	4	13	13	13	13	13
		実績値		1	4	4		
②	ブロック塀撤去申請件数（件）	計画値	4	13	13	13	13	13
		実績値		6	6	3		

町民満足度調査結果（令和 3 年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	防災・災害対策	4.44	3.14
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	・耐震診断補助件数が3件、耐震改修工事補助件数が1件、ブロック塀撤去工事補助件数が6件となった。
	課題	・耐震改修計画の目標値達成に向け、補助等の利用を促し、木造建築物の耐震化率向上を図る必要がある。
今年度	成果（実績）	・耐震診断補助件数が3件、耐震改修工事補助件数が1件、ブロック塀撤去工事補助件数が3件となった。
	課題	・耐震改修計画の目標値達成に向け、補助等の利用を促し、木造建築物の耐震化率向上を図る必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	土木管理経費				所管課	都市整備課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●		
事業対象	町民	目的	町道及び河川等の土木管理全体の維持管理を行う。				
事業概要	道路台帳整備、事務機器借上等、土木管理全体に必要な事業を実施する。						

事業予算							
会計	01	款項目	07	01	01	大事業	土木管理経費
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額	R 7 決算額	R 8 決算見込	R 9 事業費	
	直接事業費	4,606	6,935	6,271			
	概算人件費	1,946	1,755	2,033			
	トータルコスト	6,552	8,690	8,304	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 7 概算人件費	正規職員	0.44 人		2,033 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			2,033 千円			

成果指標		基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	－	計画値					
		実績値					
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	道路の整備	4.22	2.75
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・土木管理全般の一般事務を行うために必要な設計積算システム等の管理費、施設維持に必要な光熱水費等の経費について、適切に執行できた。 ・道路台帳はシステム化され、窓口対応等の時間短縮が図れている。
	課題	・引き続き道路及び橋りょう等、道路事業の推進に必要な設計積算システム等の管理費用のほか、街路灯の電気代など経常経費を計上し、快適な道路環境づくりを側面から支援する。
今年度	成果（実績）	・土木管理全般の一般事務を行うために必要な設計積算システム等の管理費、施設維持に必要な光熱水費等の経費について、適切に執行できた。 ・道路台帳はシステム化され、窓口対応等の時間短縮が図れている。
	課題	・引き続き道路及び橋りょう等、道路事業の推進に必要な設計積算システム等の管理費用のほか、街路灯の電気代など経常経費を計上し、快適な道路環境づくりを側面から支援する。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	道路新設改良事業				所管課	都市整備課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●		
事業対象	町民	目的	町道の安全・安心な通行を確保するため、道路の新設や拡幅改良工事を行う。				
事業概要	道路の新設や拡幅するための調査、工事を実施する。						

事業予算								
会計	01	款項目	07	02	02	大事業	道路新設改良事業	
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額		R 7 決算額		R 8 決算見込	R 9 事業費
	直接事業費	341	312		382			
	概算人件費	463	463		484			
トータルコスト		804	775		866		0	0
国庫/県支出金		0	0		0		0	0
その他		0	0		0		0	0
R 7 概算人件費		正規職員	0.08 人			484 千円		
		再任用職員	人			千円		
		会計年度任用職員	人			千円		
		その他	人			千円		
		合計			484 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	－	計画値						
		実績値						
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	道路の整備	4.22	2.75
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・町道は住民の日常生活に必要な不可欠な生活関連施設であり地域振興に大きく貢献する役割を果たしている。 ・歩行者や車の安全な通行を確保するため、道路環境の悪化を防止・解消し道路交通網を整備している。
	課題	・町道の改良、舗装の要望箇所は各地区から要望の多い事業であるが、緊急度の高い箇所を重点的に行い費用対効果を上げていく。
今年度	成果（実績）	・町道は住民の日常生活に必要な不可欠な生活関連施設であり地域振興に大きく貢献する役割を果たしている。 ・歩行者や車の安全な通行を確保するため、道路環境の悪化を防止・解消し道路交通網を整備している。
	課題	・町道の改良、舗装の要望箇所は各地区から要望の多い事業であるが、緊急度の高い箇所を重点的に行い費用対効果を上げていく。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

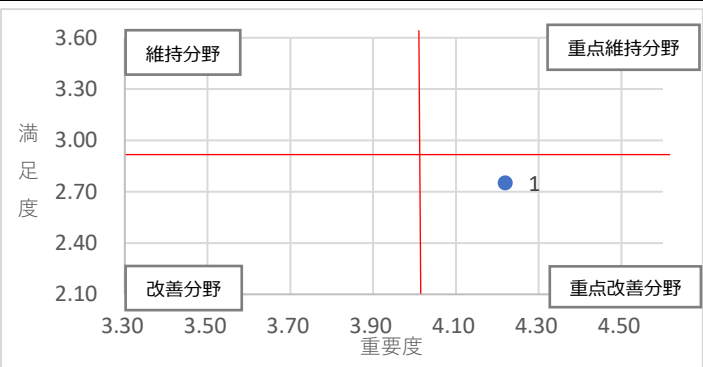
基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	道路維持管理経費				所管課	都市整備課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●	●	
事業対象	町民	目的	町道の安全・安心な通行を確保するため、適切な維持管理を実施していく。				
事業概要	側溝清掃や街路樹等の維持管理委託、橋りょう長寿命化対策、通学路安全施設整備、道路修繕工事等を実施する。						

事業予算								
会計	01	款項目	07	02	01	大事業	道路維持管理経費	
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額		R 7 決算額		R 8 決算見込	R 9 事業費
	直接事業費	149,085	187,179		128,619			
	概算人件費	8,912	8,773		10,495			
トータルコスト		157,997	195,952		139,114		0	0
国庫/県支出金		25,918	14,496		14,456		0	0
その他		18,614	0		0		0	0
R 7 概算人件費		正規職員	0.46 人			2,048 千円		
		再任用職員	4 人			8,447 千円		
		会計年度任用職員	人			千円		
		その他	人			千円		
		合計			10,495 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	－	計画値						
		実績値						
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	道路の整備	4.22	2.75
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	・道路等のインフラについては、町民生活に直結していることから、日頃のパトロールや地区要望などにより修繕が必要な場所の優先度を位置づけ維持管理を行っている。
	課題	・道路構造物について、老朽化が進行している状況である。今後、安全面を重視した維持管理手法の確立が求められる。
今年度	成果（実績）	・道路等のインフラについては、町民生活に直結していることから、日頃のパトロールや地区要望などにより修繕が必要な場所の優先度を位置づけ維持管理を行っている。
	課題	・道路構造物について、老朽化が進行している状況である。今後、安全面を重視した維持管理手法の確立が求められる。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

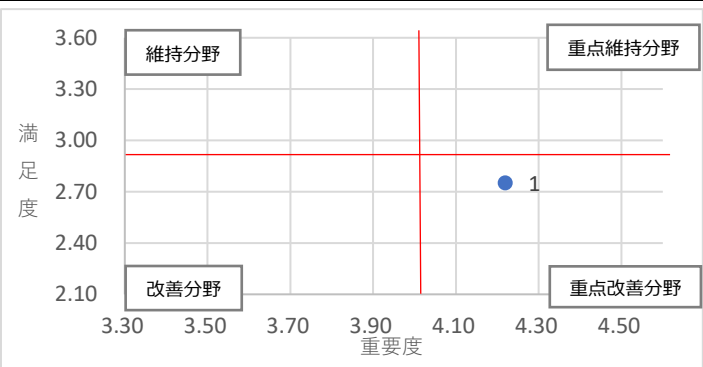
基礎評価シート（令和 7 年度 実績）

予算等事業名	狭あい道路等拡幅整備事業				所管課	都市整備課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●		
事業対象	町民	目的	二宮町狭あい道路等拡幅整備要綱に基づき、建築基準法第42条2項の規定に基づく道路の拡幅整備を実施し、安全・安心な道路を整備する。				
事業概要	狭あい道路拡幅等に関する協議書が申請された土地の用地取得、物件補償を行い、後退用地の整備工事を実施する。						

事業予算						
会計	01	款項目	07	02	02	大事業 狭あい道路等拡幅整備事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額	R 7 決算額	R 8 決算見込	R 9 事業費
	直接事業費	23,118	35,336	23,243		
	概算人件費	2,700	2,700	1,067		
	トータルコスト	25,818	38,036	24,310	0	0
	国庫/県支出金	9,000	7,781	9,316	0	0
	その他	0	0	0	0	0
R 7 概算人件費	正規職員	0.21 人		1,067 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			1,067 千円		

成果指標		基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	－	計画値					
		実績値					
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和 3 年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	道路の整備	4.22	2.75
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	・狭あい道路のセットバックを促進するとともに、狭あいな道路の解消を図り、生活の利便性と安全性の向上を図っている。
	課題	・平成 7 年度から着手した事業であり、制度としては定着してきたが、建築に伴う道路後退が発生することが主な要因となることから、毎年、一定の件数とはならない。
今年度	成果（実績）	・狭あい道路のセットバックを促進するとともに、狭あいな道路の解消を図り、生活の利便性と安全性の向上を図っている。
	課題	・平成 7 年度から着手した事業であり、制度としては定着してきたが、建築に伴う道路後退が発生することが主な要因となることから、毎年、一定の件数とはならない。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	コミュニティバス運行事業				所管課	都市整備課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●		
事業対象	町民	目的	路線バス・コミュニティバスの再編・見直しや新たな乗合交通の導入可能性を検討し、日常生活の移動手段が確保されている環境づくりを進める。				
事業概要	公共交通空白地域・不便地域の解消を目的に、町民が利用しやすいコミュニティバスを運行する。						

事業予算							
会計	01	款項目	07	04	01	大事業	コミュニティバス運行事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額	R 7 決算額	R 8 決算見込	R 9 事業費	
	直接事業費	11,697	12,440	12,243			
	概算人件費	723	795	898			
	トータルコスト	12,420	13,235	13,141	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 7 概算人件費	正規職員	0.20 人		898 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			898 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	コミュニティバスの乗車人員（人/日）	計画値	84.1	92.6	101.1	109.6	118.1	126.7
		実績値		97.0	119.6	129.6		
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	地域公共交通の確保	4.01	2.72
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・1日あたりの利用者数は約119人と前年度と比較して約22人増加し、計画を上回った。
	課題	・コミュニティバスの運行を維持するため、引き続き利用向上につながる取り組みが必要である。
今年度	成果（実績）	・1日あたりの利用者数は約129人と前年度と比較して約10人増加し、計画を上回った。
	課題	・コミュニティバスの運行を維持するため、引き続き利用向上につながる取り組みが必要である。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

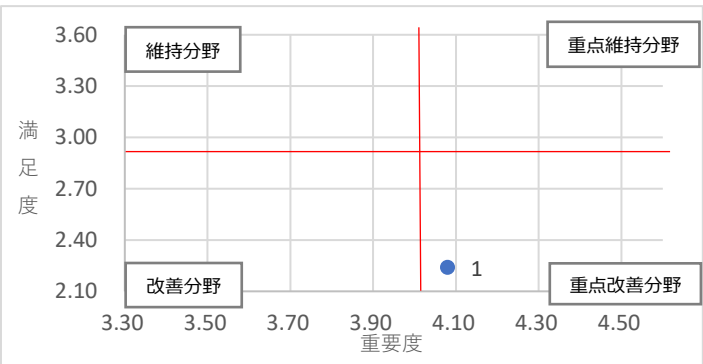
基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	南北駅前広場及び南北公衆トイレ等維持管理事業				所管課	都市整備課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●		
事業対象	町民	目的	町の玄関として、南北駅前広場や南北エレベーター等の適切な維持管理を行い、安全で快適な通行等を確保する。				
事業概要	JR二宮駅南北に設置されたエレベーター、エスカレーター等の定期点検や修繕による維持管理、また、駅南北の公衆トイレ及び南北駅前広場の清掃を実施する。						

事業予算							
会計	01	款項目	07	01	01	大事業	南北駅前広場及び南北公衆トイレ等維持管理事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額		R 7 決算額		R 8 決算見込
							R 9 事業費
	直接事業費	15,077	10,300		10,517		
	概算人件費	1,312	663		1,185		
	トータルコスト	16,389	10,963		11,702		0
	国庫/県支出金	0	0		0		0
	その他	2,520	0		0		0
R 7 概算人件費	正規職員	0.30 人		1,185 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			1,185 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	－	計画値						
		実績値						
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	中心市街地等の整備・誘導	4.08	2.24
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	・二宮駅利用者が安全かつ気持ちよく利用できるよう維持管理に努めている。施設の損傷及び故障に早急に対処したことにより、適正な施設の維持管理ができた。
	課題	・施設の経年劣化により修繕が増加傾向にあるため、修繕の緊急性、利用者の安全性や利便性を考慮して、計画的な修繕を行う必要がある。
今年度	成果（実績）	・二宮駅利用者が安全かつ気持ちよく利用できるよう維持管理に努めている。施設の損傷及び故障に早急に対処したことにより、適正な施設の維持管理ができた。
	課題	・施設の経年劣化により修繕が増加傾向にあるため、修繕の緊急性、利用者の安全性や利便性を考慮して、計画的な修繕を行う必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	河川維持管理経費				所管課	都市整備課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●		
事業対象	町民	目的	二宮町が管理する河川の維持管理を実施し、河川の適正管理を図る。				
事業概要	町管理河川である梅沢川や緑が丘地内の打越川の草刈り、清掃等を実施する。						

事業予算								
会計	01	款項目	07	03	01	大事業	河川維持管理経費	
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額		R 7 決算額		R 8 決算見込	R 9 事業費
	直接事業費	1,588	7,127		4,715			
	概算人件費	822	606		962			
トータルコスト		2,410	7,733		5,677		0	0
国庫/県支出金		0	0		0		0	0
その他		0	0		0		0	0
R 7 概算人件費		正規職員	0.23 人			962 千円		
		再任用職員	人			千円		
		会計年度任用職員	人			千円		
		その他	人			千円		
		合計			962 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	－	計画値						
		実績値						
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	道路の整備	4.22	2.75
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・河川等の維持管理を適切に行ってきた結果、河川等の機能確保が図れた。また、台風10号による大雨の影響で土砂が堆積した、緑が丘堰堤の土砂浚渫を実施し、機能回復を図った。
	課題	・河川等の氾濫に繋がらないよう、継続して維持管理を進める必要がある。
今年度	成果（実績）	・河川等の維持管理を適切に行ってきた結果、河川等の機能確保が図れた。また、台風10号による大雨の影響で土砂が堆積した、緑が丘堰堤の土砂浚渫を実施し、機能回復を図った。
	課題	・河川等の氾濫に繋がらないよう、継続して維持管理を進める必要がある。

		※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」		※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」	
1次評価(所管課)	総合評価	適当		方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見				
	総合評価	適当		方向性	現状維持

基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	開発等指導事業				所管課	都市整備課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
			●				
事業対象	町民、事業者	目的	都市づくりの指針となる都市計画マスタープランのもと、魅力あふれる都市づくりを推進し、まちづくりに関する条例に則り良好な住環境の形成を図る。				
事業概要	「二宮町の開発事業における手続及び基準等に関する条例」に基づき、町民・事業者・行政の責務を明確にし、三者が協力や相互に理解をしながら、町の特性に応じた開発事業の誘導を図っていく。						

事業予算								
会計	01	款項目	07	04	01	大事業	都市計画審議会等経費	
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額		R 7 決算額		R 8 決算見込	R 9 事業費
	直接事業費	0	0		0			
	概算人件費	1,537	1,711		1,778			
トータルコスト		1,537	1,711		1,778		0	0
国庫/県支出金		0	0		0		0	0
その他		0	0		0		0	0
R 7 概算人件費		正規職員	0.40 人			1,778 千円		
		再任用職員	人			千円		
		会計年度任用職員	人			千円		
		その他	人			千円		
		合計			1,778 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	-	計画値						
		実績値						
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	土地利用	4.00	2.28
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・「二宮町の開発事業における手続及び基準等に関する条例」に基づき適正な指導を行った。（申請件数は6件）
	課題	・引き続き、条例に基づき適正な指導を行っていく。
今年度	成果（実績）	・「二宮町の開発事業における手続及び基準等に関する条例」に基づき適正な指導を行った。（申請件数は10件）
	課題	・引き続き、条例に基づき適正な指導を行っていく。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	都市計画審議会経費				所管課	都市整備課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●		●				
事業対象	町民、事業者	目的	都市づくりの指針となる都市計画マスタープランのもと、魅力あふれる都市づくりを推進し、まちづくりに関する条例に則り良好な住環境の形成を図る。				
事業概要	都市計画を決定する際に都市計画審議会へ諮問し、答申いただくこととするため、その審議会を運営することを目的とする。						

事業予算								
会計	01	款項目	07	04	01	大事業	都市計画審議会等経費	
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額		R 7 決算額		R 8 決算見込	R 9 事業費
	直接事業費	56	0		0			
	概算人件費	320	227		245			
トータルコスト		376	227		245		0	0
国庫/県支出金		0	0		0		0	0
その他		0	0		0		0	0
R 7 概算人件費		正規職員	0.05 人			245 千円		
		再任用職員	人			千円		
		会計年度任用職員	人			千円		
		その他	人			千円		
		合計			245 千円			

成果指標		基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	－	計画値					
		実績値					
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	土地利用	4.00	2.28
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・都市計画審議会の開催がなかった。
	課題	・都市計画に関する審議案件が出た際には、適宜、都市計画審議会の開催を行っていく。
今年度	成果（実績）	・都市計画審議会の開催がなかった。
	課題	・都市計画に関する審議案件が出た際には、適宜、都市計画審議会の開催を行っていく。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	地籍調査事業				所管課	都市整備課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
		●			●		
事業対象	町民	目的	国土調査法に基づく用地調査を行うもので、用地の境界、面積、所有者を確定し、土地の明確化を図ることで居住環境の向上を推進する。				
事業概要	平成24年度に実施した官民境界等先行調査の後続調査であり、対象面積1.2haの一筆地調査を実施。						

事業予算							
会計	01	款項目	07	01	01	大事業	地籍調査事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額	R 7 決算額	R 8 決算見込	R 9 事業費	
	直接事業費	1,399	829	5,648			
	概算人件費	1,767	2,027	2,269			
	トータルコスト	3,166	2,856	7,917	0	0	
	国庫/県支出金	770	379	2,925	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 7 概算人件費	正規職員	0.48 人		2,269 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			2,269 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	－	計画値						
		実績値						
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	空家対策	4.14	2.36
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・最新の測量技術によって作成される地籍調査の成果は、精度の高い正確な地籍図や地籍簿として、土地所有者の権利関係を保護する不動産登記制度に反映されるとともに、その土地に関する情報を管理することで、土地に関する基礎資料として様々な面で活用できる。 ※35調査区におけるE工程を実施。
	課題	・早期完了を図るためには、単年度当たりの実施面積を増やすことになるが、そのためには予算や職員数の増加が必要となる。今後は、委託内容を見直すことにより、職員の負担軽減を図れるよう、業務の効率化を図っていく。
今年度	成果（実績）	・最新の測量技術によって作成される地籍調査の成果は、精度の高い正確な地籍図や地籍簿として、土地所有者の権利関係を保護する不動産登記制度に反映されるとともに、その土地に関する情報を管理することで、土地に関する基礎資料として様々な面で活用できる。 ※35調査区E2工程～H工程、36調査区E工程を実施。
	課題	・早期完了を図るためには、単年度当たりの実施面積を増やすことになるが、そのためには予算や職員数の増加が必要となる。今後は、委託内容を見直すことにより、職員の負担軽減を図れるよう、業務の効率化を図っていく。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	空家等対策推進事業				所管課	都市整備課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
		●	●		●		
事業対象	町民、事業者	目的	適切に管理されていない空き家が防災、衛生、景観等の地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしていることから、空家等に関する対策を実施する。				
事業概要	「空家等対策の推進に関する特別措置法」および、「二宮町空家等対策計画」に基づき、町内の空家対策を進める。						

事業予算							
会計	01	款項目	07	04	01	大事業	空家等対策推進事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額	R 7 決算額	R 8 決算見込	R 9 事業費	
	直接事業費	5,630	4,973	4,564			
	概算人件費	1,875	2,046	2,192			
	トータルコスト	7,505	7,019	6,756	0	0	
	国庫/県支出金	2,445	1,951	718	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 7 概算人件費	正規職員	0.48 人		2,192 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			2,192 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	空き家リフォーム・解体申請件数（件）	計画値	7	10	12	12	12	12
		実績値		11	10	9		
②	空き家バンク登録件数（件）	計画値	2	2	3	3	3	3
		実績値		3	2	3		

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	空家対策	4.14	2.36
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	空き家リフォーム・解体工事補助件数が計10件、空き家バンク登録件数が2件となった。
	課題	高齢化等に伴い、空き家の増加が懸念されるため、今後も空き家の予防・啓発、利活用を一層促進する必要がある。
今年度	成果（実績）	空き家リフォーム・解体工事補助件数が計9件、空き家バンク登録件数が3件となった。
	課題	高齢化等に伴い、空き家の増加が懸念されるため、今後も空き家の予防・啓発、利活用を一層促進する必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

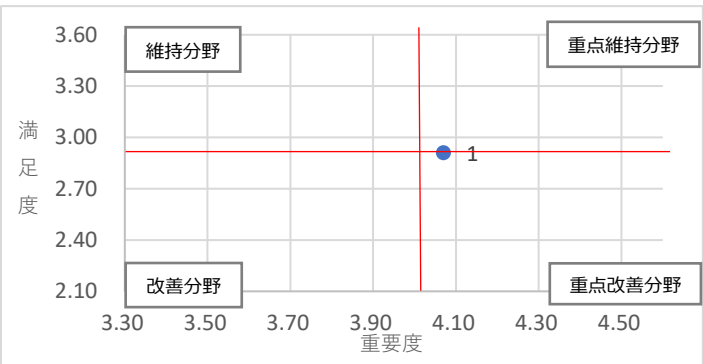
基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	公園等整備事業				所管課	都市整備課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●		●		●		
事業対象	町民	目的	都市公園、児童遊園地等施設の維持管理を継続的に実施し、負担軽減に向けた公園の配置の見直しを行う。また、施設を整備し利用者の安全を図り適切な公園運営を行なう。				
事業概要	都市公園、児童遊園地等施設の維持管理を継続的に実施し、施設を整備し利用者の安全を図り適切な公園運営を行なう。						

事業予算							
会計	01	款項目	07	04	02	大事業	公園等整備事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額		R 7 決算額		R 8 決算見込
							R 9 事業費
	直接事業費	20,578	16,969		4,173		
	概算人件費	1,175	1,175		1,369		
	トータルコスト	21,753	18,144		5,542		0
	国庫/県支出金	2,722	0		0		0
	その他	0	0		0		0
	R 7 概算人件費	正規職員	0.26 人		1,369 千円		
		再任用職員	人		千円		
		会計年度任用職員	人		千円		
		その他	人		千円		
		合計			1,369 千円		

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	－	計画値						
		実績値						
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	公園・緑地の整備	4.07	2.91
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	・公園統廃合計画に基づき、公園施設の更新や改修を行い適正な運営管理に努めている。
	課題	・各公園の遊具等の施設の老朽化が顕著となっているため、計画的に整備していく必要がある。
今年度	成果（実績）	・公園統廃合計画に基づき、公園施設の更新や改修を行い適正な運営管理に努めている。
	課題	・各公園の遊具等の施設の老朽化が顕著となっているため、計画的に整備していく必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	緑地等維持管理経費				所管課	都市整備課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
			●	●	●		
事業対象	町民	目的	町管理の緑地等の維持管理を実施し、民有地の樹木の保全に助成を行ない樹木の保全を図る。				
事業概要	町管理の緑地等の維持管理を実施し、民有地の樹木の保全に助成を行ない樹木の保全を図る。						

事業予算							
会計	01	款項目	07	04	03	大事業	緑地等維持管理経費
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額	R 7 決算額	R 8 決算見込	R 9 事業費	
	直接事業費	4,015	4,026	4,110			
	概算人件費	946	946	928			
	トータルコスト	4,961	4,972	5,038	0	0	
	国庫/県支出金	13	17	17	0	0	
	その他	221	220	219	0	0	
R 7 概算人件費	正規職員	0.18 人		928 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			928 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	自然保護奨励金制度の対象面積（㎡）	計画値	96,093	96,093	96,093	96,093	96,093	96,093
		実績値		96,093	96,093	96,093		
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	公園・緑地の整備	4.07	2.91
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・町内緑地の保全や、高木の剪定、草刈りなどを行い、適正な維持管理に努めている。
	課題	・高齢化している樹木が増えているため、対策を検討していく必要がある。
今年度	成果（実績）	・町内緑地の保全や、高木の剪定、草刈りなどを行い、適正な維持管理に努めている。
	課題	・高齢化している樹木が増えているため、対策を検討していく必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

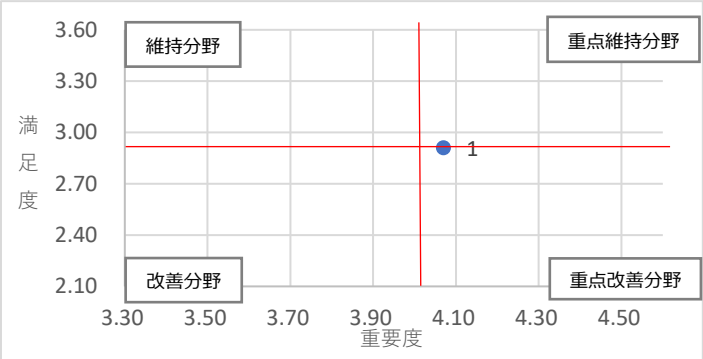
基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	緑化推進事業				所管課	都市整備課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
			●	●	●		
事業対象	町民	目的	町内の花壇や公共施設に花苗等を植栽することにより、住民意識の高揚を図る。また、町の緑の将来を見通した総合的な指針となる緑の基本計画の改定を行い、緑化の保全及び緑化を計画的かつ効率的に推進することを目指す。				
事業概要	町内の花壇や公共施設に花苗等を植栽することにより、住民意識の高揚を図る。						

事業予算							
会計	01	款項目	07	04	03	大事業	緑化推進事業
		R 5 決算額（千円）		R 6 決算額		R 7 決算額	R 8 決算見込
							R 9 事業費
	直接事業費	938		996		281	
	概算人件費	863		607		663	
トータルコスト		1,801		1,603		944	0
国庫/県支出金		82		78		78	0
その他		0		0		0	0
R 7 概算人件費	正規職員	0.13 人				663 千円	
	再任用職員			人		千円	
	会計年度任用職員			人		千円	
	その他			人		千円	
	合計					663 千円	

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	花いっぱい運動の実施回数（回）	計画値	2	2	2	2	2	2
		実績値		2	2	2		
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	公園・緑地の整備	4.07	2.91
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	・花いっぱい運動を実施する町内の花壇などの規模を縮小し、花苗等を植栽して緑化推進に努めるとともに、町内の花壇に維持管理が比較的容易な多年草を植栽した。
	課題	・花壇として使用していた土地の維持管理や利活用について、検討が必要である。
今年度	成果（実績）	・花いっぱい運動を実施し、町内の花壇などに花苗等を植栽して緑化推進に努めた。
	課題	・花いっぱい運動参加団体の負担軽減や、花壇の維持管理手法の検討を行う必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持